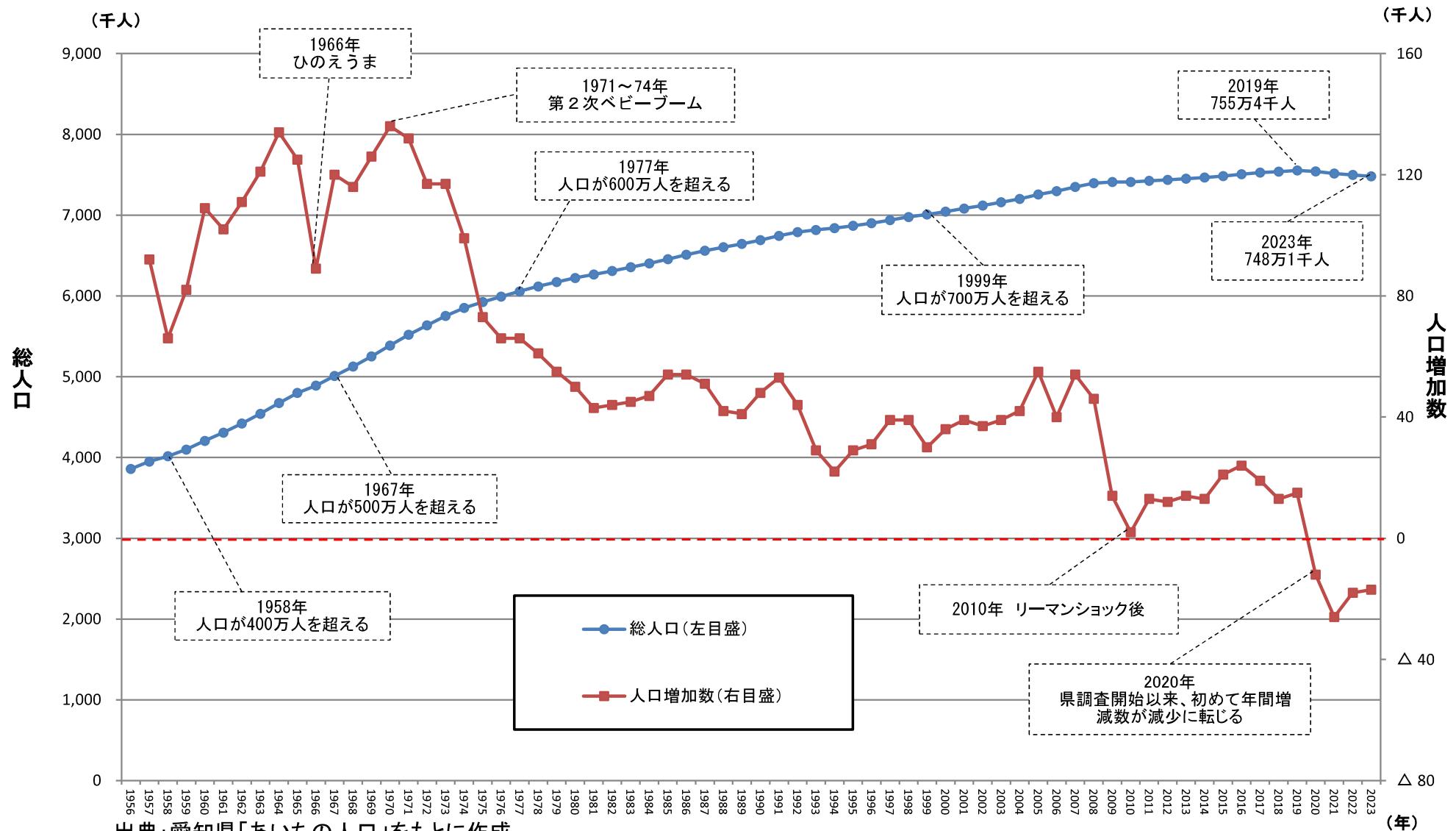


愛知県の人口動向について

愛知県の人口の推移



○ 愛知県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに4年連続の減少となり、2023年10月1日時点で約748万1千人となっている。



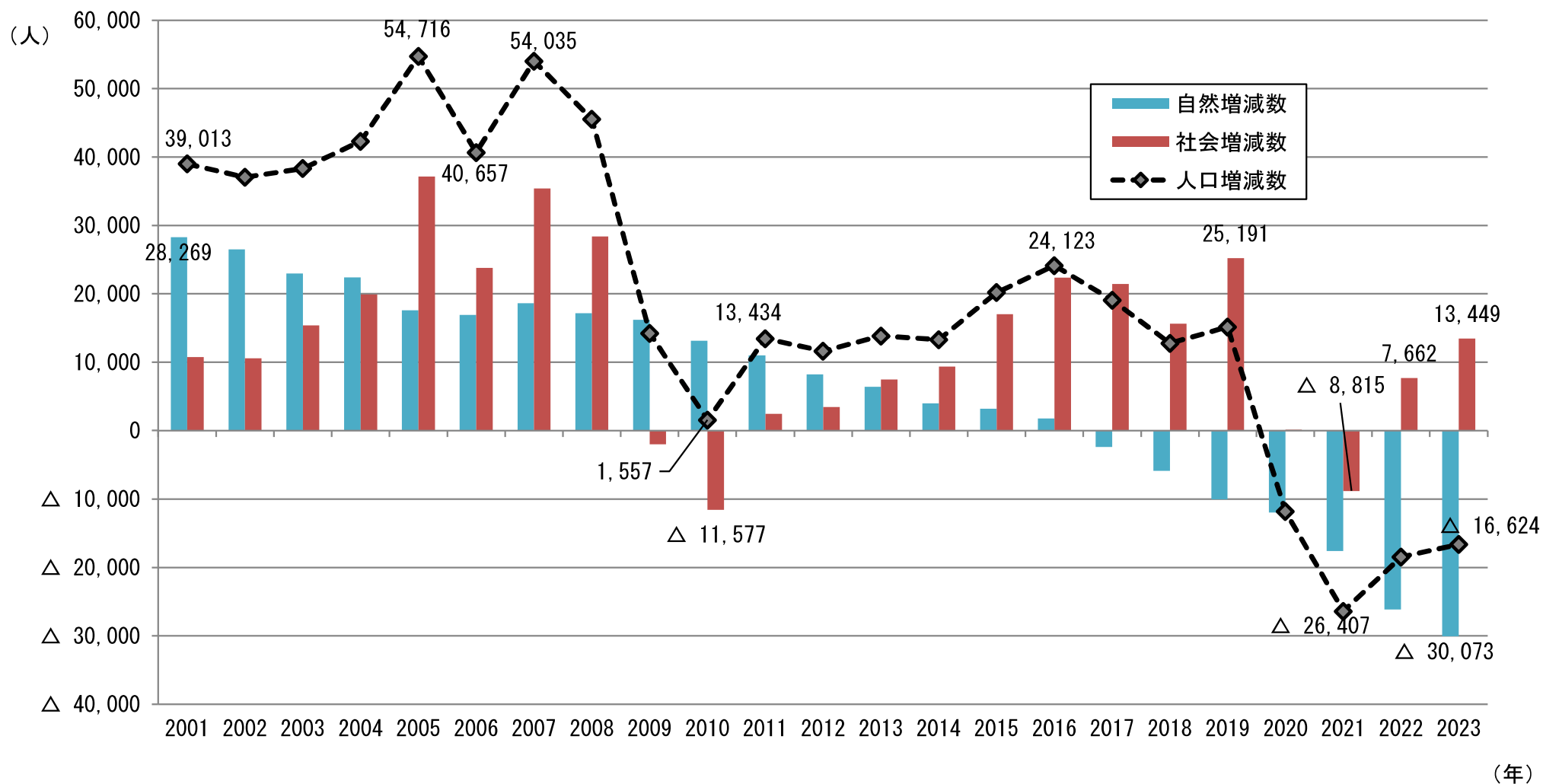
出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成

※総人口は各年10月1日現在、人口増加数は前年10月～当年9月(外国人を含む)

要因別の人口増減数の推移



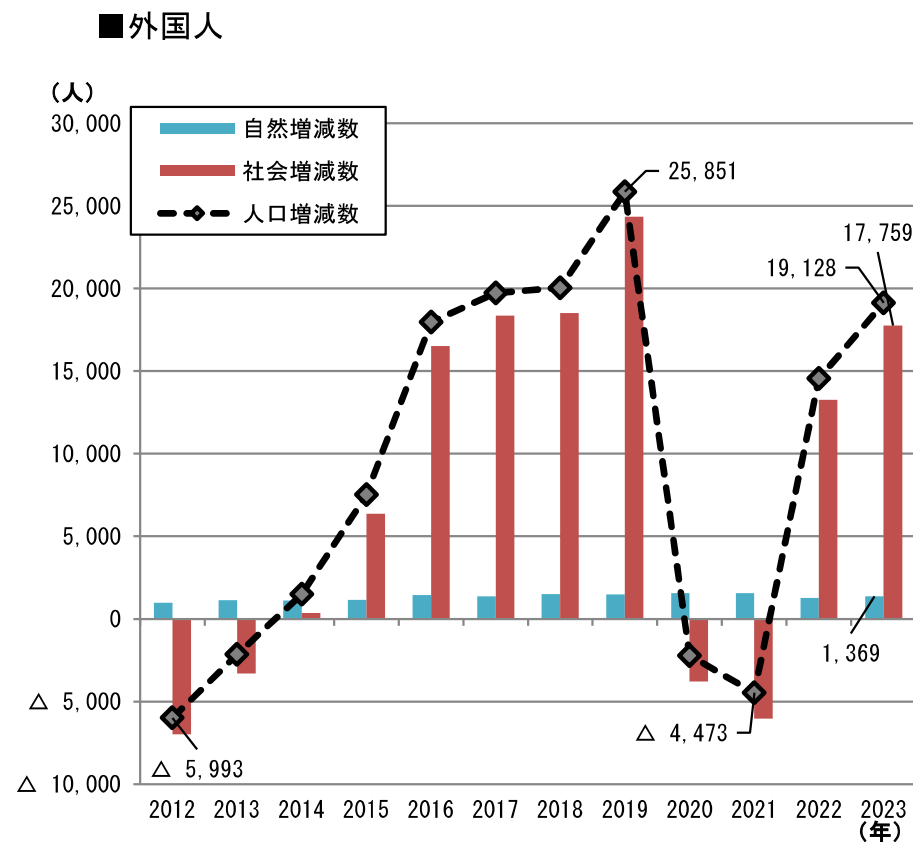
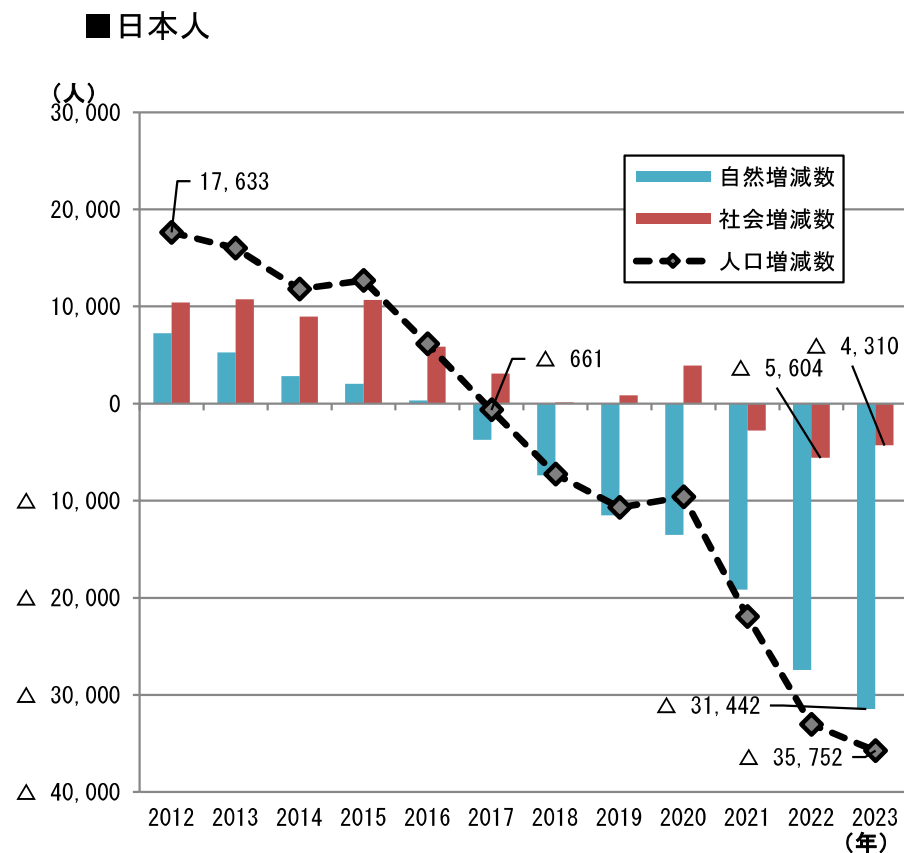
- 愛知県の人口の自然増減数は、2017年に減少に転じて以降、減少幅が拡大しており、2023年は30,073人の減少となった。
- 一方で社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年は11年ぶりにマイナスとなったが、2022年から増加に転じ、2023年は13,449人の増加となった。



日本人・外国人別の人口増減数の推移



- 県内の日本人は、自然減の拡大に伴い、減少幅が拡大している。
- 外国人の人口については、2019年は年2万人を超える増加であったものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制等により、2020年・2021年は減少となった。入国規制の緩和等に伴い、2022年は再び増加に転じ、2023年は19,128人の増加となった。



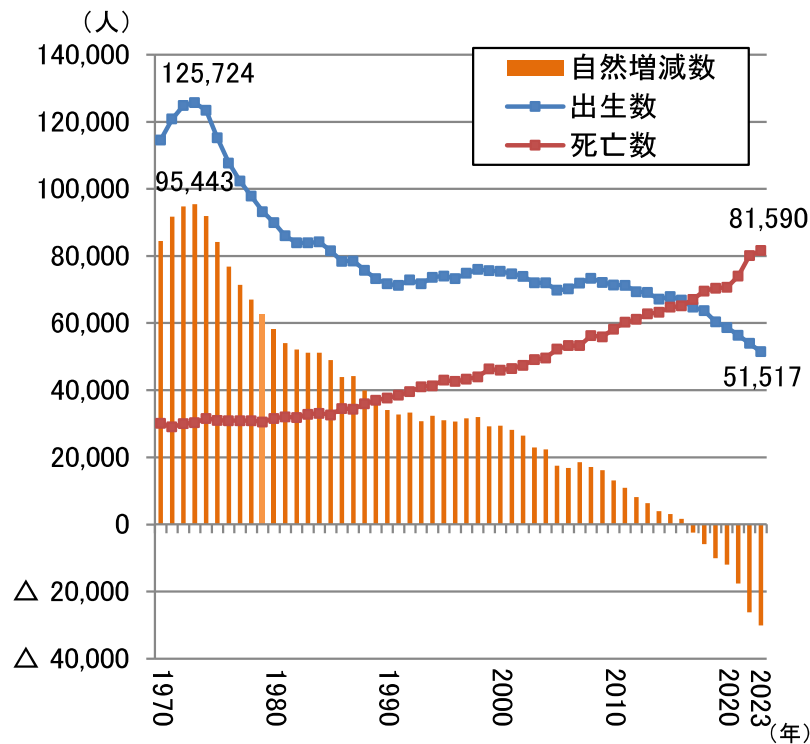
出典: 愛知県「あいちの人口」をもとに作成
※人口増減数は前年10月～当年9月

自然増減



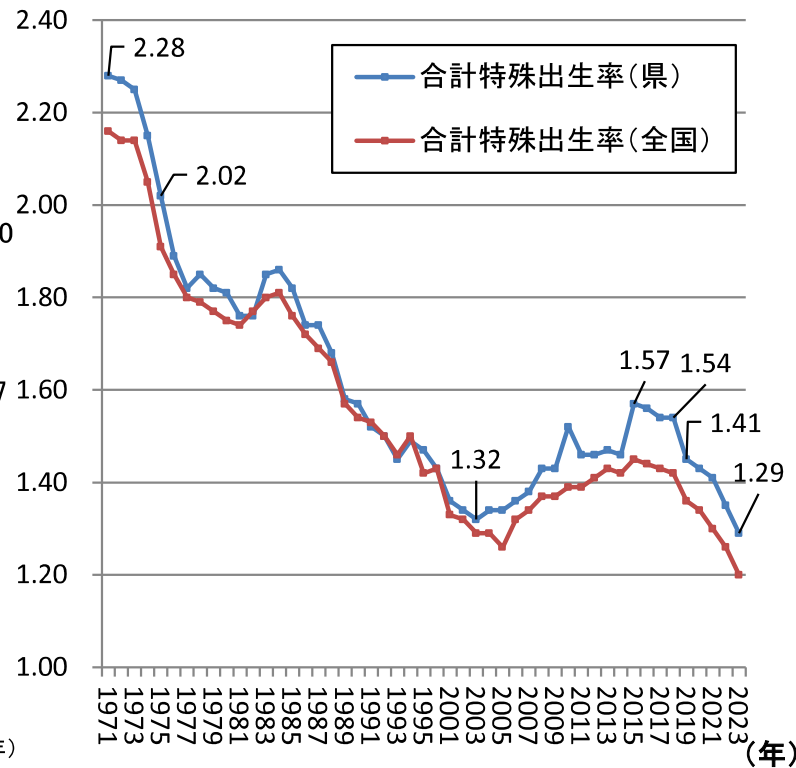
- 愛知県の出生数は減少が続く一方、死亡数は大きく増加しており、自然増減数の減少幅の拡大が続いている。
- 合計特殊出生率は2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていたが、2015年を境に低下傾向となり、2023年は1.29。全国で高い方から25番目であるが、大都市圏の中では高い水準。

■ 愛知県の自然増減数の推移



出典：愛知県「あいちの人口」をもとに作成

■ 合計特殊出生率の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」
(2023年の数値は2024年6月5日公表の人口動態統計月報年計(概数))

※都道府県別合計特殊出生率

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄県	1.60
2	長崎県	1.49
2	宮崎県	1.49
4	鹿児島県	1.48
5	熊本県	1.47
6	佐賀県	1.46
6	島根県	1.46
6	福井県	1.46
9	鳥取県	1.44
10	山口県	1.40
10	香川県	1.40

25	愛知県	1.29
----	-----	------

37	栃木県	1.19
37	大阪府	1.19
39	岩手県	1.16
40	埼玉県	1.14
40	千葉県	1.14
42	神奈川県	1.13
43	京都府	1.11
44	秋田県	1.10
45	宮城県	1.07
46	北海道	1.06
47	東京都	0.99

全国	1.20
----	------

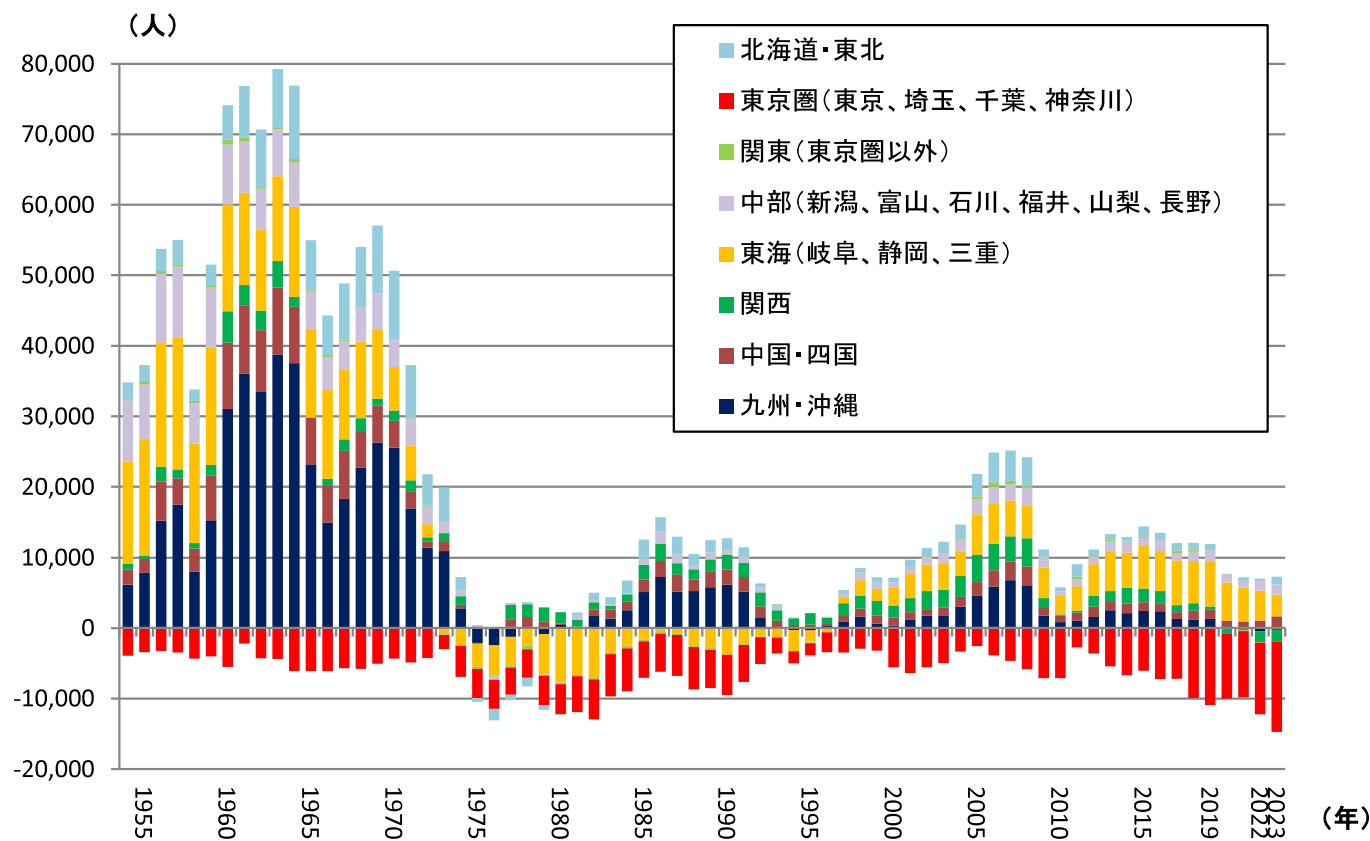
…大都市圏

転出入超過数の推移

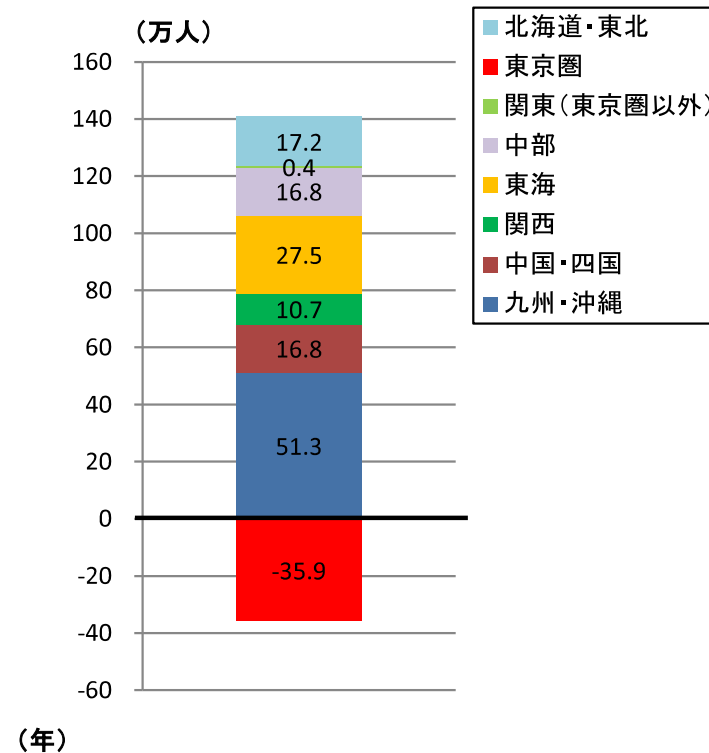


- 東京圏に対しては転出超過が続いており、近年では拡大傾向にある。
- 他地域においても、関西に対しては2020年以降、九州・沖縄に対しては2021年以降、転出超過の傾向にある。

■本県と全国地域ブロック別の転出入の推移



■転入超過数累計(1954年～2023年)



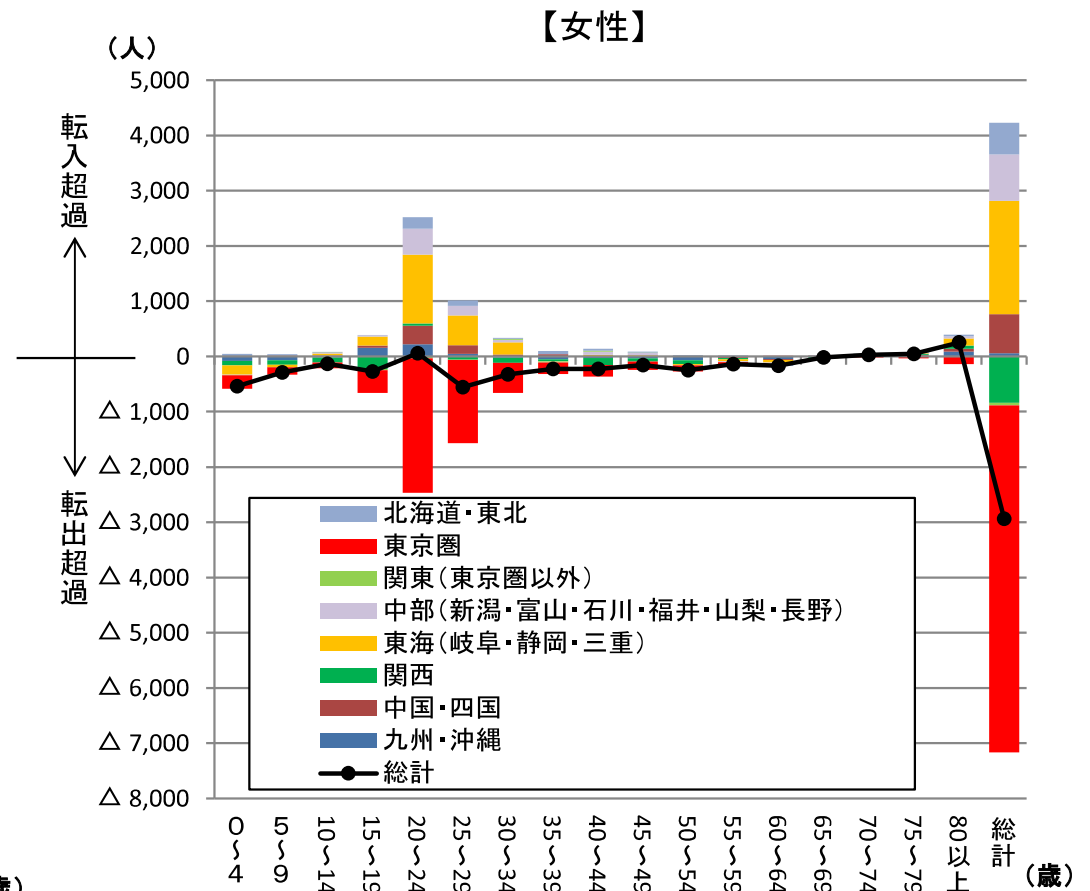
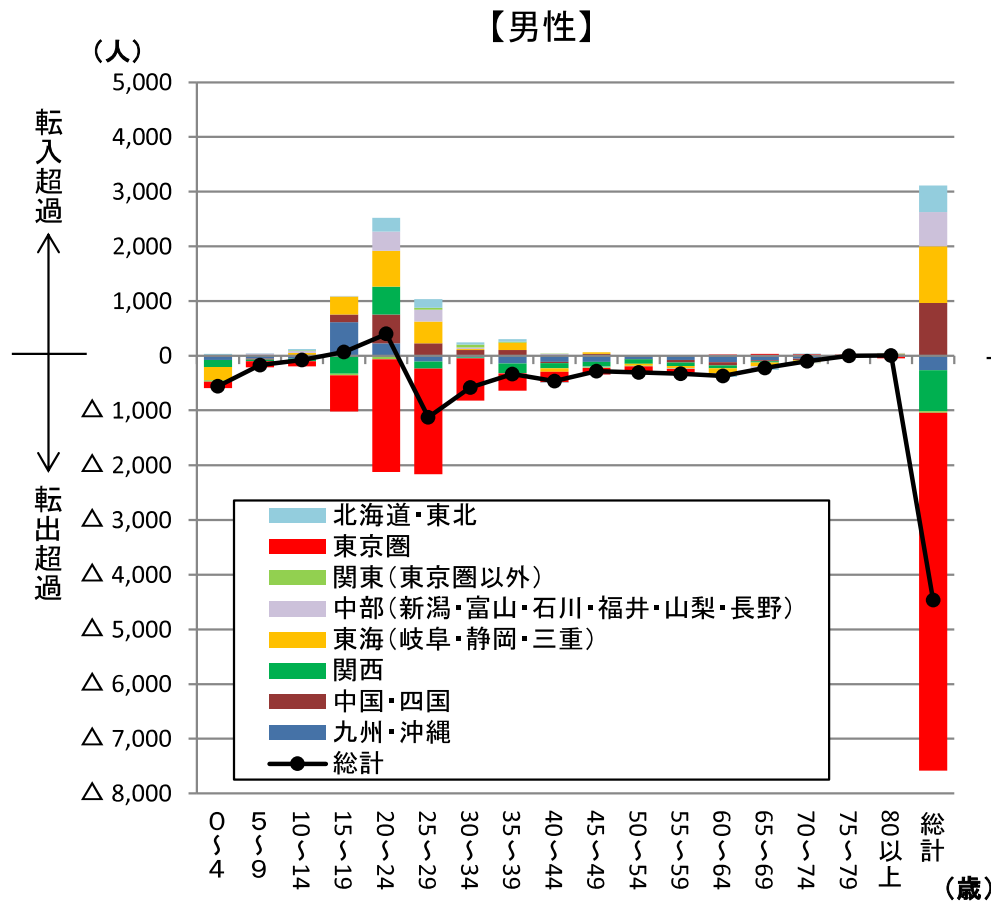
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成
※日本人のみ

男女別・年齢別転出入超過数(国内移動)



- 男性は、15～24歳で東海(岐阜・静岡・三重)、中国・四国、九州・沖縄などを中心に転入超過となっているが、東京圏(東京・埼玉・千葉・神奈川)に対しては20～29歳で転出超過が大きくなっている。
- 女性は、東海からの転入超過が男性よりも大きいですが、東京圏に対しては、大学卒業後の就職時に当たる20～24歳における転出超過が、男性よりも大きくなっている。

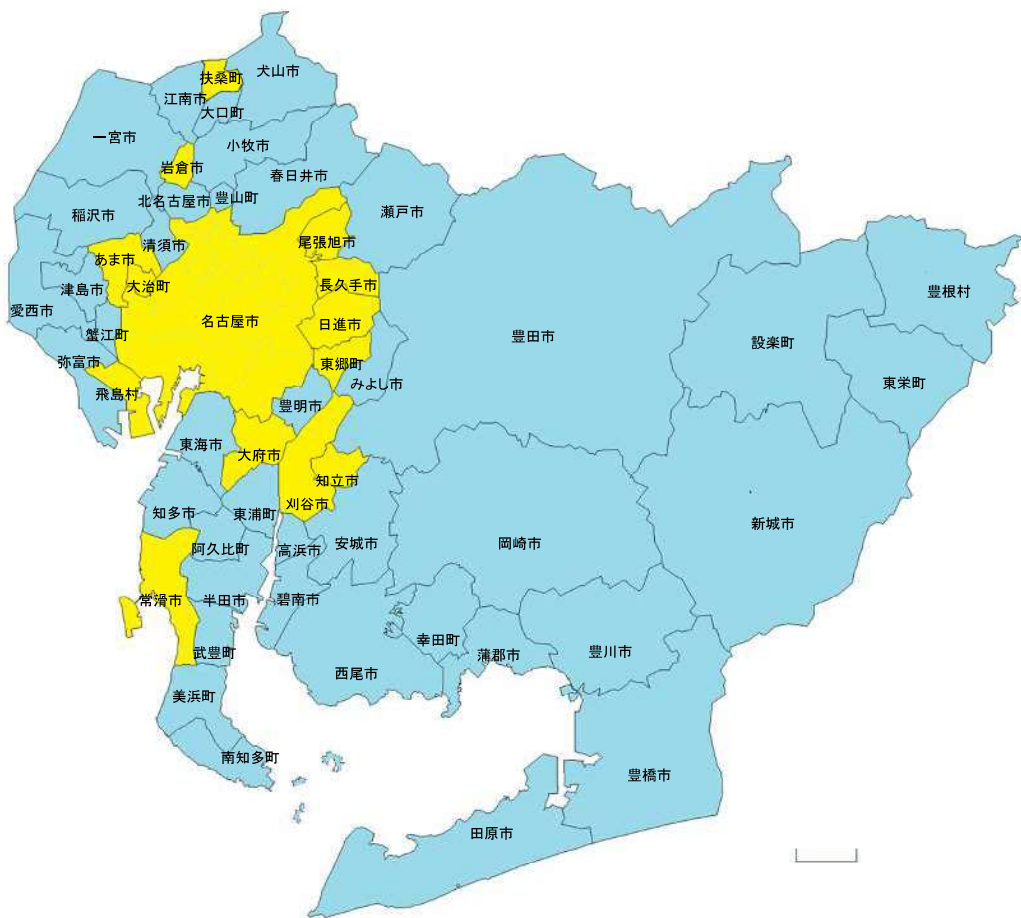
愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況(2023年)



市町村別人口



○ 直近1年間(2022年10月～2023年9月)の県内の市町村別人口は、名古屋市をはじめ14市町村で増加した一方、中核市を含む40市町村で減少しており、人口減少地域は県内全域に広がっている。



黄色 : 人口が増加している市町村
 水色 : 人口が減少している市町村

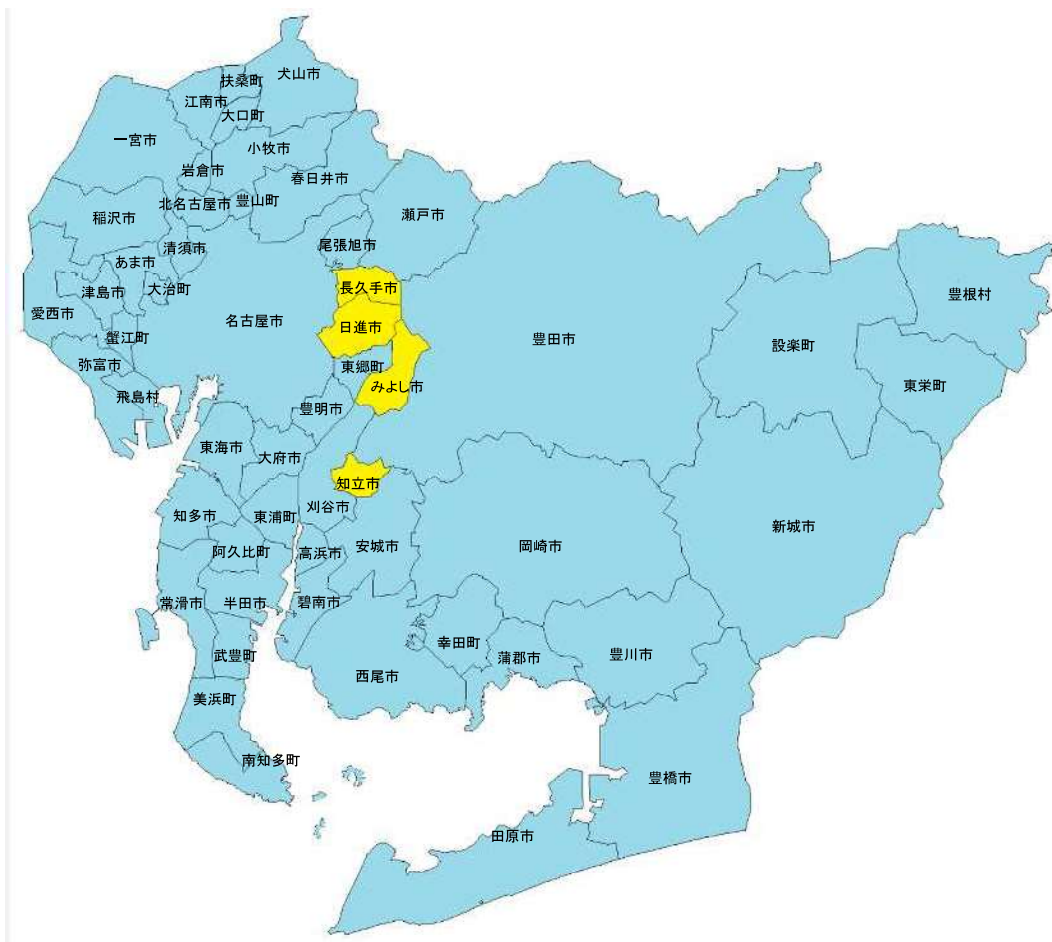
市町村名	2023.10.1 推計人口	2022.10～23.9 人口増減数	市町村名	2023.10.1 推計人口	2022.10～23.9 人口増減数
名古屋市	2,326,683	905	岩倉市	47,745	35
豊橋市	365,346	△ 1,871	豊明市	68,483	△ 347
岡崎市	381,893	△ 1,207	日進市	93,006	202
一宮市	374,479	△ 1,848	田原市	57,251	△ 807
瀬戸市	126,229	△ 775	愛西市	59,250	△ 498
半田市	115,713	△ 415	清須市	66,927	△ 166
春日井市	305,319	△ 1,455	北名古屋市	86,271	△ 60
豊川市	184,245	△ 112	弥富市	42,405	△ 236
津島市	59,319	△ 487	みよし市	62,120	△ 36
碧南市	71,984	△ 233	あま市	85,801	82
刈谷市	153,599	152	長久手市	61,183	159
豊田市	416,127	△ 1,129	東郷町	43,882	250
安城市	186,303	△ 535	豊山町	15,651	△ 73
西尾市	167,907	△ 302	大口町	24,219	△ 37
蒲郡市	77,975	△ 676	扶桑町	34,307	50
犬山市	71,823	△ 648	大治町	32,894	159
常滑市	58,216	238	蟹江町	36,899	△ 92
江南市	96,593	△ 475	飛島村	4,451	34
小牧市	146,352	△ 822	阿久比町	28,036	△ 201
稲沢市	132,133	△ 859	東浦町	49,559	△ 95
新城市	42,232	△ 648	南知多町	15,486	△ 305
東海市	112,528	△ 409	美浜町	21,712	△ 226
大府市	93,176	157	武豊町	43,245	△ 22
知多市	82,552	△ 566	幸田町	42,207	△ 157
知立市	72,139	51	設楽町	4,014	△ 153
尾張旭市	83,261	37	東栄町	2,663	△ 90
高浜市	46,187	△ 36	豊根村	917	△ 26
			愛知県	7,480,897	△ 16,624

出典:愛知県「あいちの人口(年報)」をもとに作成

市町村別の自然増減数



- 直近1年間(2022年10月～2023年9月)の県内の自然増減数は、長久手市をはじめ4市では増加した一方、他の50市町村では減少している。



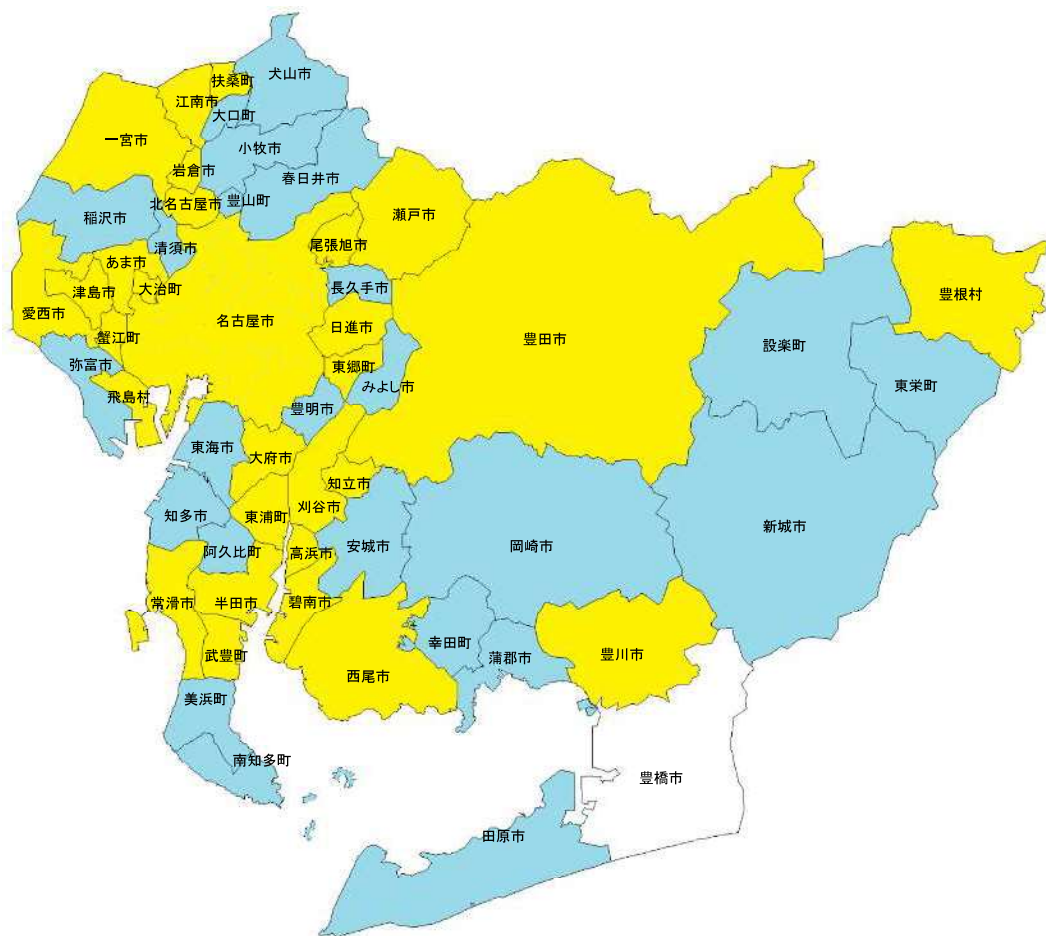
黄色 : 人口が増加している市町
 水色 : 人口が減少している市町村

市町村名	2022.10～23.9 自然増減数	市町村名	2022.10～23.9 自然増減数
名古屋市	△ 9,529	岩倉市	△ 132
豊橋市	△ 1,871	豊明市	△ 255
岡崎市	△ 849	日進市	99
一宮市	△ 2,245	田原市	△ 519
瀬戸市	△ 867	愛西市	△ 613
半田市	△ 537	清須市	△ 85
春日井市	△ 1,159	北名古屋市	△ 115
豊川市	△ 902	弥富市	△ 230
津島市	△ 505	みよし市	36
碧南市	△ 342	あま市	△ 395
刈谷市	△ 29	長久手市	165
豊田市	△ 1,160	東郷町	△ 128
安城市	△ 239	豊山町	△ 43
西尾市	△ 856	大口町	△ 31
蒲郡市	△ 660	扶桑町	△ 151
犬山市	△ 469	大治町	△ 32
常滑市	△ 355	蟹江町	△ 183
江南市	△ 711	飛島村	△ 60
小牧市	△ 636	阿久比町	△ 120
稲沢市	△ 761	東浦町	△ 248
新城市	△ 534	南知多町	△ 272
東海市	△ 128	美浜町	△ 197
大府市	△ 4	武豊町	△ 163
知多市	△ 488	幸田町	△ 47
知立市	32	設楽町	△ 101
尾張旭市	△ 249	東栄町	△ 71
高浜市	△ 94	豊根村	△ 35
		愛知県	△ 30,073

市町村別の社会増減数



- 直近1年間(2022年10月～2023年9月)の県内の社会増減数は、名古屋市をはじめ29市町村では増加した一方、他の24市町村では減少している。(※豊橋市は増減なし)



黄色 : 人口が増加している市町
 水色 : 人口が減少している市町村

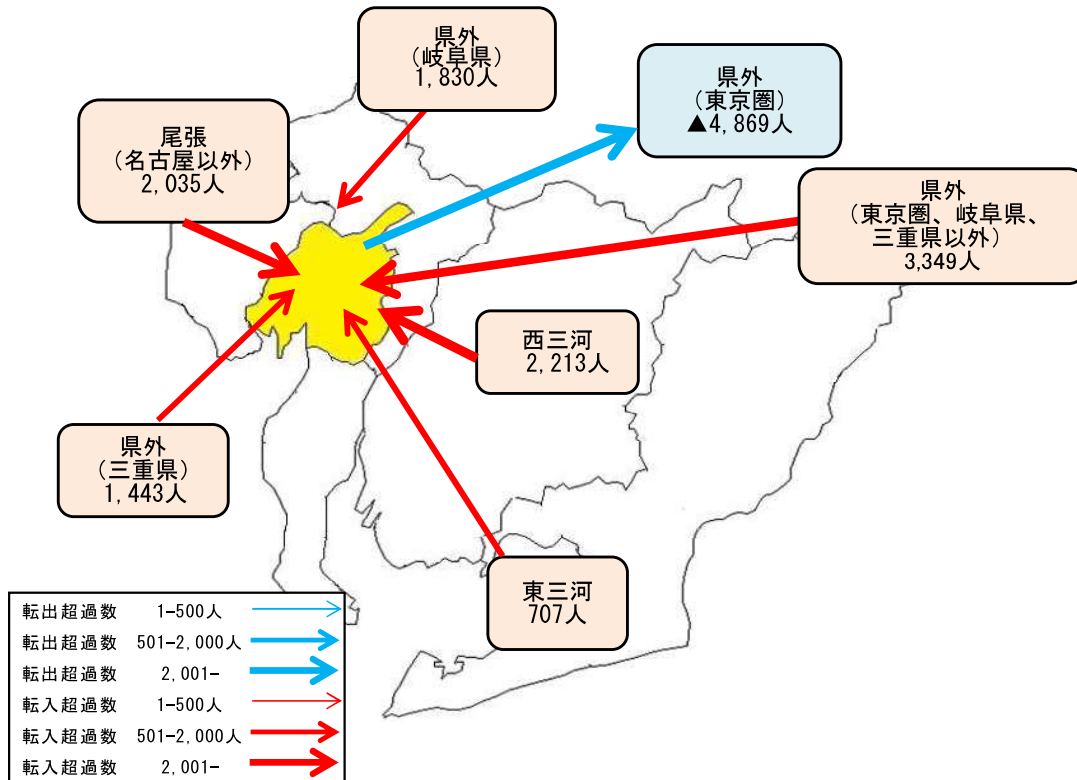
市町村名	2022.10～23.9 社会増減数	市町村名	2022.10～23.9 社会増減数
名古屋市	10,434	岩倉市	167
豊橋市	0	豊明市	△ 92
岡崎市	△ 358	日進市	103
一宮市	397	田原市	△ 288
瀬戸市	92	愛西市	115
半田市	122	清須市	△ 81
春日井市	△ 296	北名古屋市	55
豊川市	790	弥富市	△ 6
津島市	18	みよし市	△ 72
碧南市	109	あま市	477
刈谷市	181	長久手市	△ 6
豊田市	31	東郷町	378
安城市	△ 296	豊山町	△ 30
西尾市	554	大口町	△ 6
蒲都市	△ 16	扶桑町	201
犬山市	△ 179	大治町	191
常滑市	593	蟹江町	91
江南市	236	飛島村	94
小牧市	△ 186	阿久比町	△ 81
稲沢市	△ 98	東浦町	153
新城市	△ 114	南知多町	△ 33
東海市	△ 281	美浜町	△ 29
大府市	161	武豊町	141
知多市	△ 78	幸田町	△ 110
知立市	19	設楽町	△ 52
尾張旭市	286	東栄町	△ 19
高浜市	58	豊根村	9
		愛知県	13,449

地域別の転出入の状況①(名古屋)



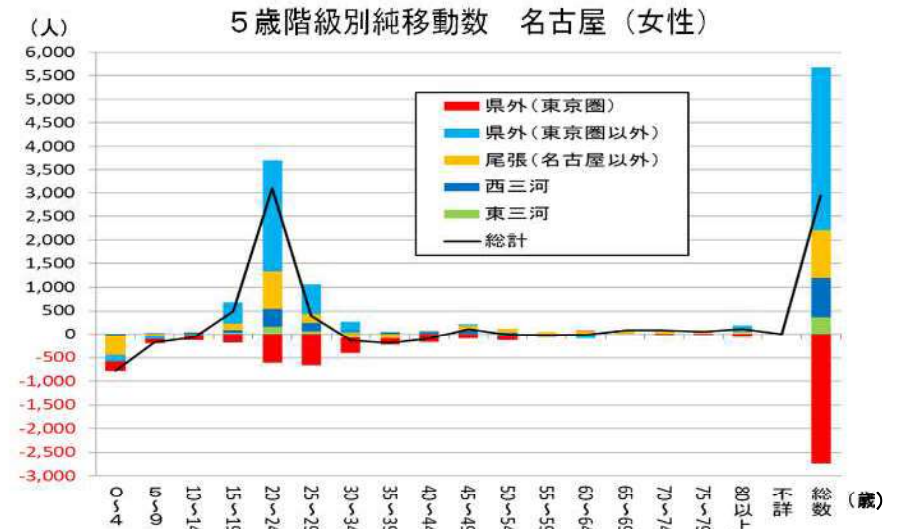
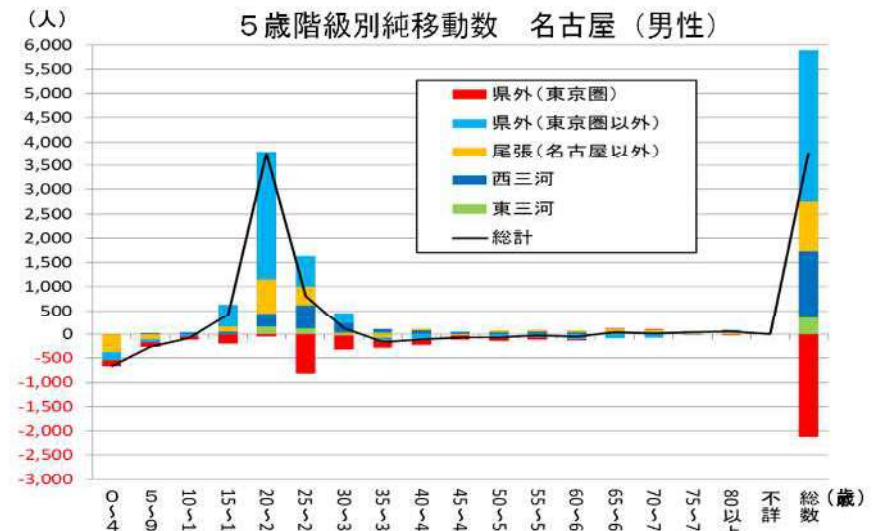
- 名古屋地域の転出入は、6,708人の転入超過となっている。東京圏を除き、県内外全ての地域に対して転入超過となっている。
- 男女ともに、20～24歳の若者層を中心に転入超過となっている。

名古屋地域における転出入の状況（2023年）



（単位：人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入超過数（県内）	4,207	4,849	3,666	3,577	4,955
転入超過数（県外）	2,546	1,758	674	519	1,753
転入超過数（うち東京圏）	△ 4,700	△ 3,946	△ 4,111	△ 4,352	△ 4,869
転入超過数（総計）	6,753	6,607	4,340	4,096	6,708



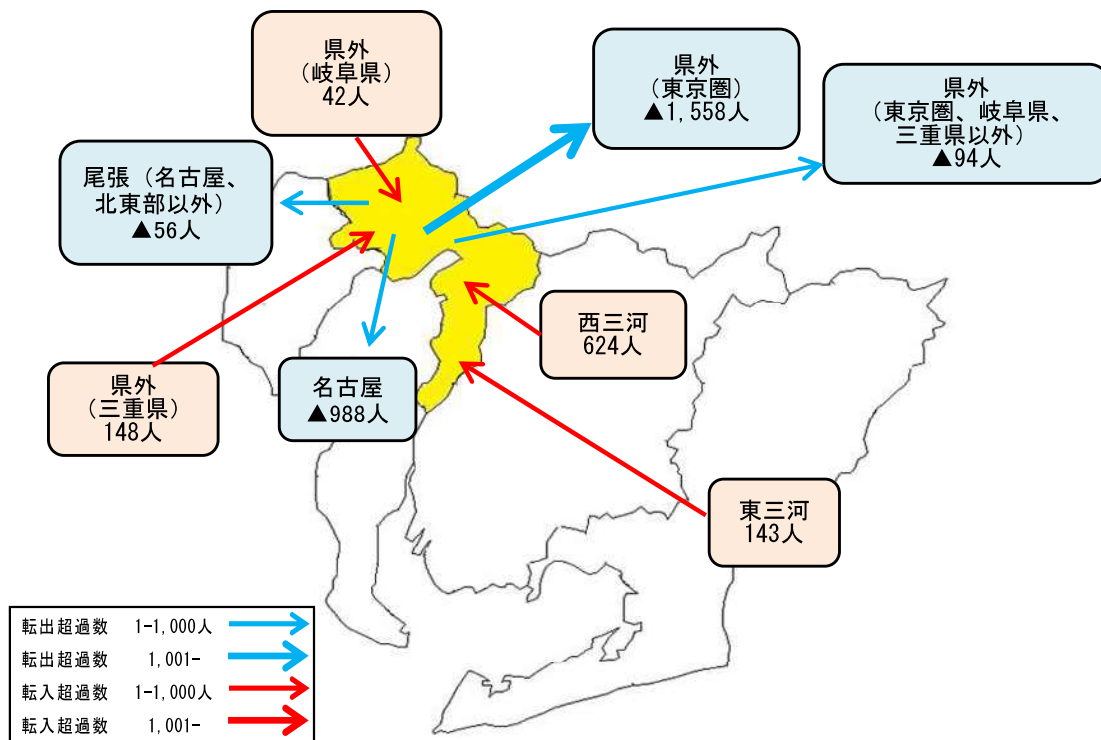
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成 ※2023年1月1日から12月31日までの移動の計、日本人のみ

地域別の転出入の状況②(尾張北東部)



- 尾張北東部地域の転出入は、1,739人の転出超過となっている。三河地域及び岐阜県・三重県を除き、東京圏や名古屋市等に対して転出超過となっている。
- 男女ともに、20～24歳の若年層を中心に転出超過となっている。

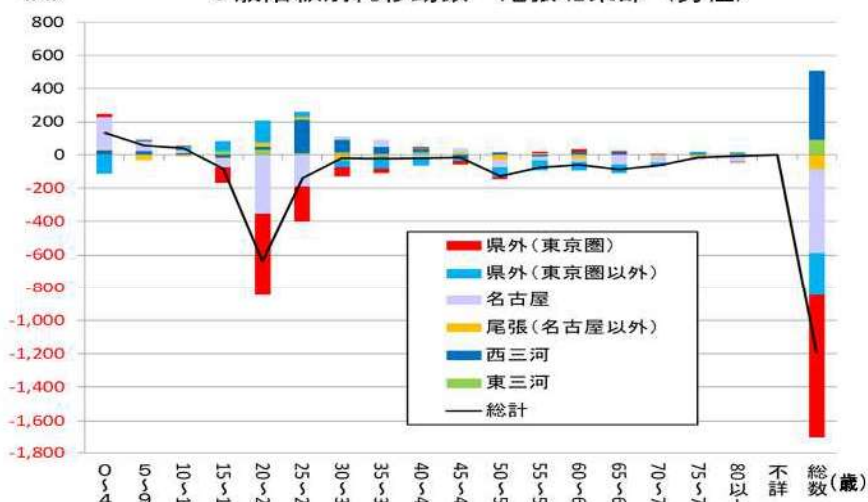
尾張北東部地域における転出入の状況（2023年）



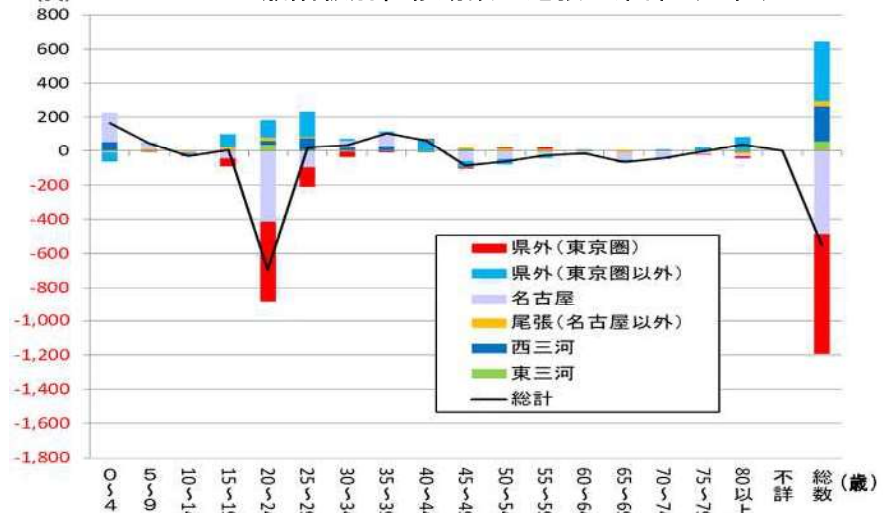
(単位: 人)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入超過数（県内）	630	1,136	1,180	△ 43	△ 277
転入超過数（県外）	△ 1,044	△ 1,362	△ 1,193	△ 1,723	△ 1,462
転入超過数（うち東京圏）	△ 2,490	△ 2,035	△ 1,352	△ 1,603	△ 1,558
転入超過数（総計）	△ 414	△ 226	△ 13	△ 1,766	△ 1,739

5歳階級別純移動数 尾張北東部（男性）



5歳階級別純移動数 尾張北東部（女性）



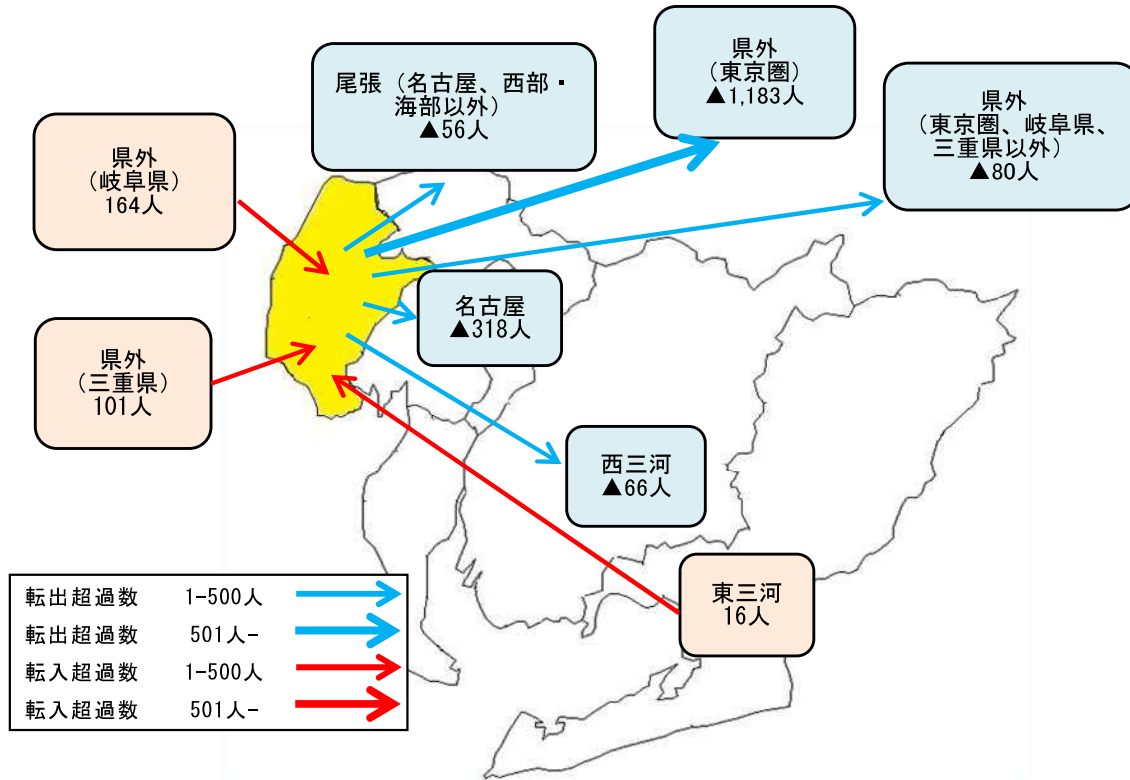
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成 ※2023年1月1日から12月31日までの移動の計、日本人のみ

地域別の転出入の状況③(尾張西部・海部)



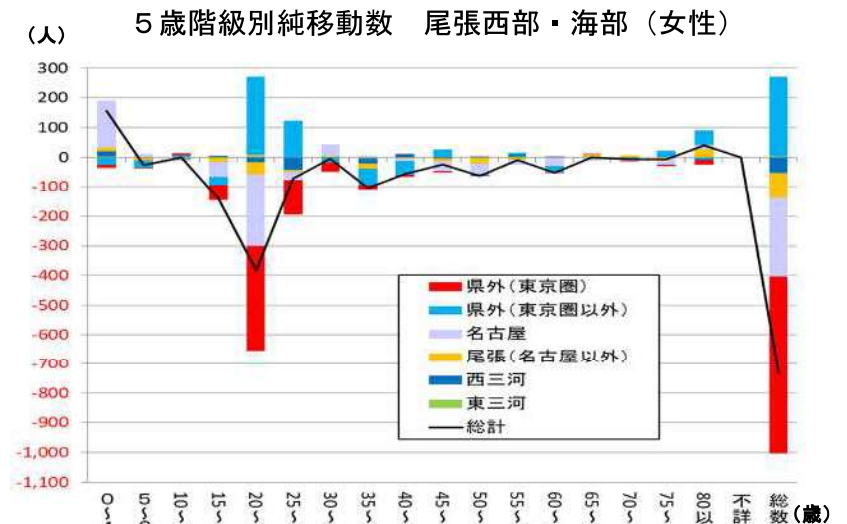
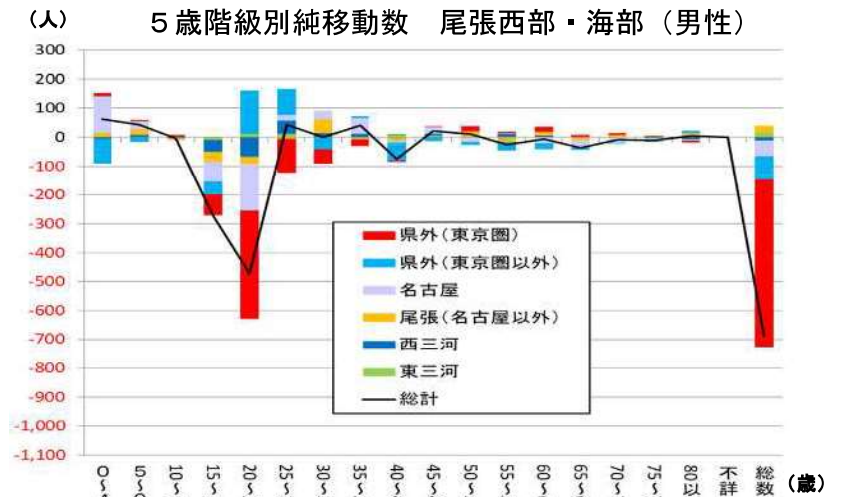
- 尾張西部・海部地域の転出入は、1,422人の転出超過となっている。東三河地域や岐阜県・三重県といった周辺地域に対して転入超過となっている。
- 男性は15～24歳が転出超過、女性は15～29歳が転出超過の傾向となっている。

尾張西部・海部地域における転出入の状況（2023年）



（単位：人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入超過数（県内）	95	△ 192	△ 133	290	△ 424
転入超過数（県外）	△ 446	△ 1,019	△ 860	△ 1,113	△ 998
転入超過数（うち東京圏）	△ 1,304	△ 1,227	△ 1,022	△ 1,109	△ 1,183
転入超過数（総計）	△ 351	△ 1,211	△ 993	△ 823	△ 1,422

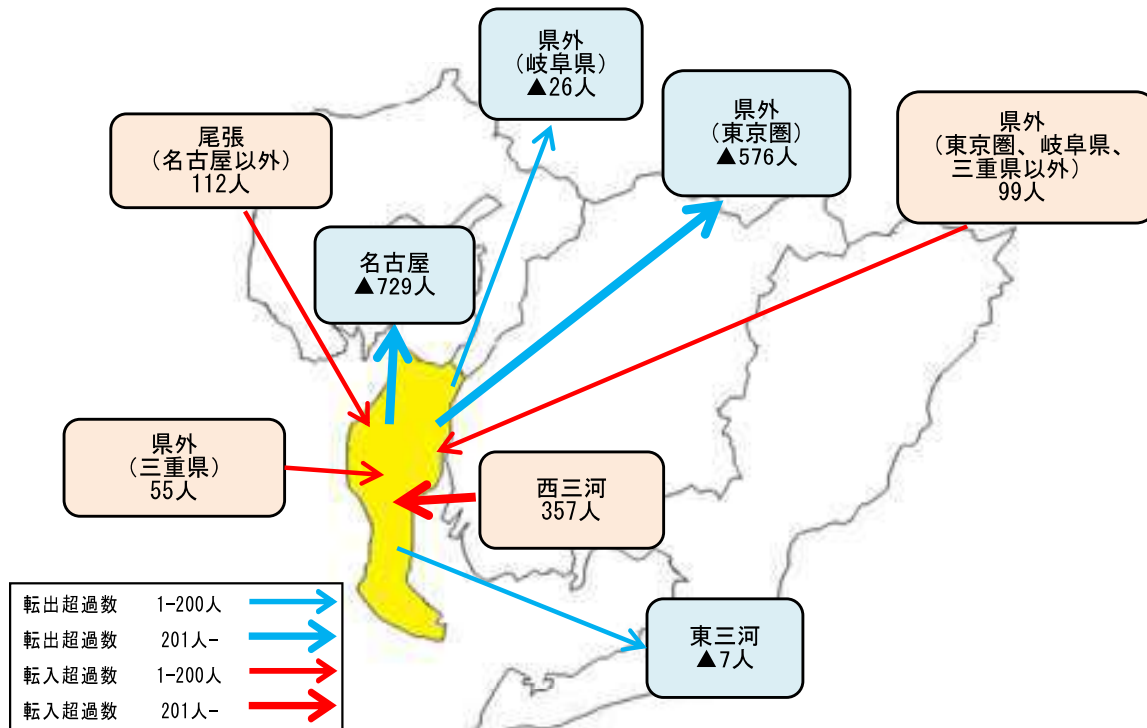


地域別の転出入の状況④(知多)



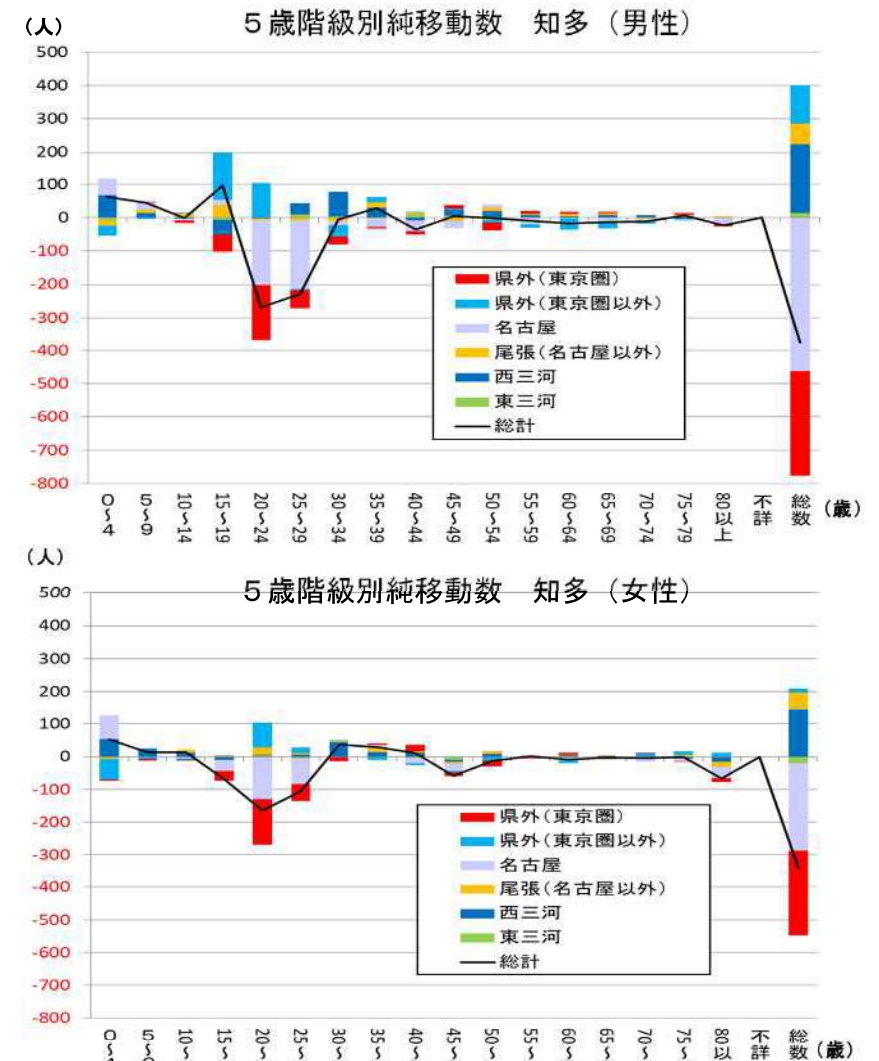
- 知多地域の転出入は、715人の転出超過となっている。西三河や名古屋市を除く尾張地域、岐阜県及び東京圏を除く県外に対しては転入超過となっている。
- 男性は15～19歳が転入超過となっている一方、男女ともに20～29歳を中心に転出超過傾向となっている。

知多地域における転出入の状況（2023年）



（単位：人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入超過数（県内）	△ 159	△ 491	△ 966	△ 547	△ 267
転入超過数（県外）	△ 185	△ 369	△ 760	△ 673	△ 448
転入超過数（うち東京圏）	△ 669	△ 573	△ 602	△ 635	△ 576
転入超過数（総計）	△ 344	△ 860	△ 1,726	△ 1,220	△ 715



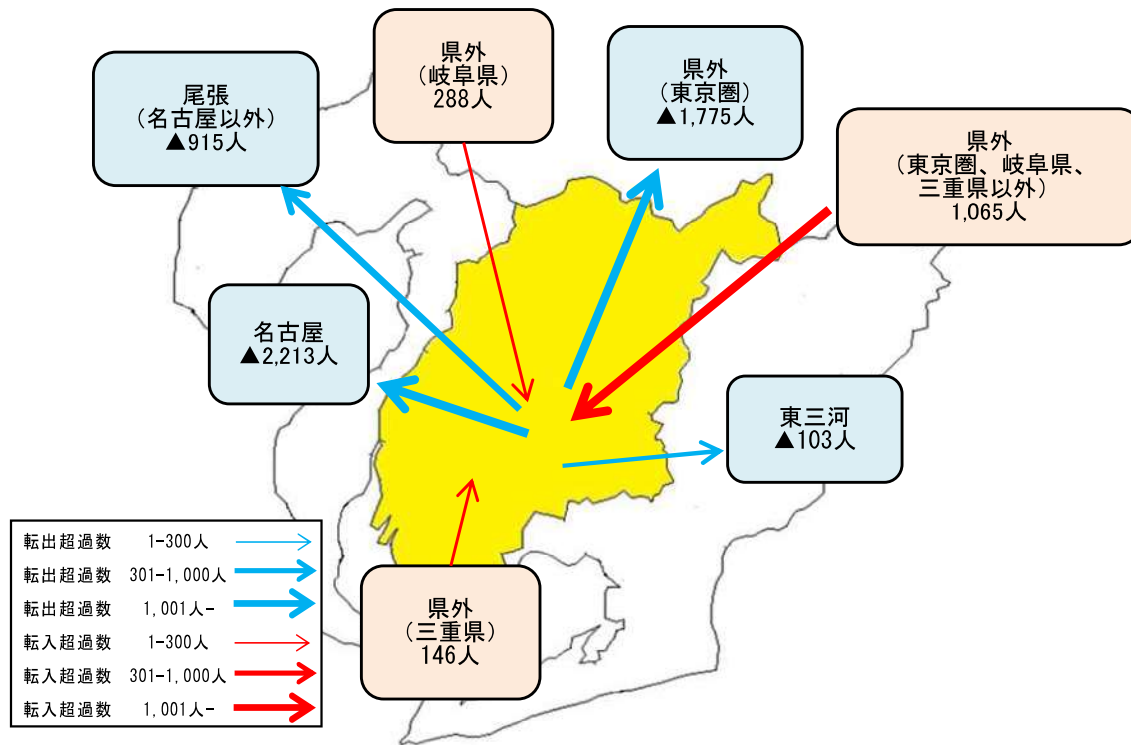
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成 ※2023年1月1日から12月31日までの移動の計、日本人のみ

地域別の転出入の状況⑤(西三河)



- 西三河地域の転出入は、3,507人の転出超過となっている。東京圏を除く県外に対して転入超過、県内及び東京圏に対しては転出超過となっている。
- 男性は15～24歳は転入超過の一方、25～79歳は転出超過となっている。女性は75歳以上の高齢者を除き、転出超過となっている。

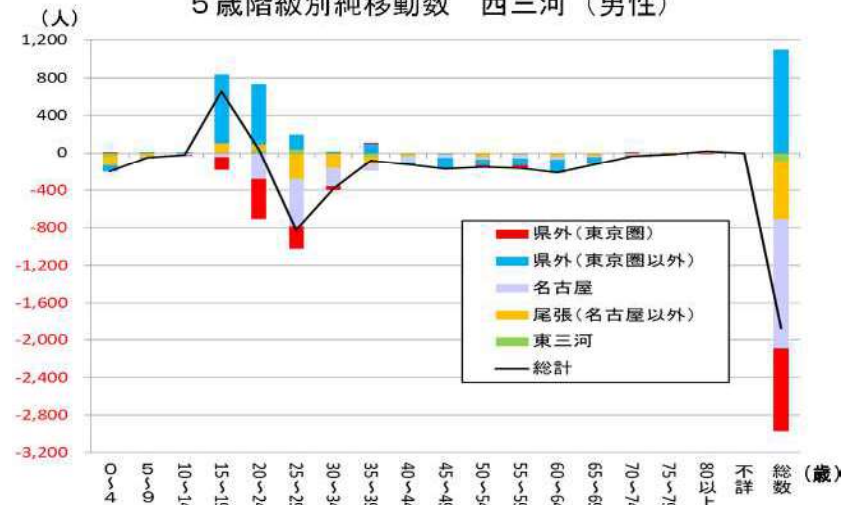
西三河地域における転出入の状況（2023年）



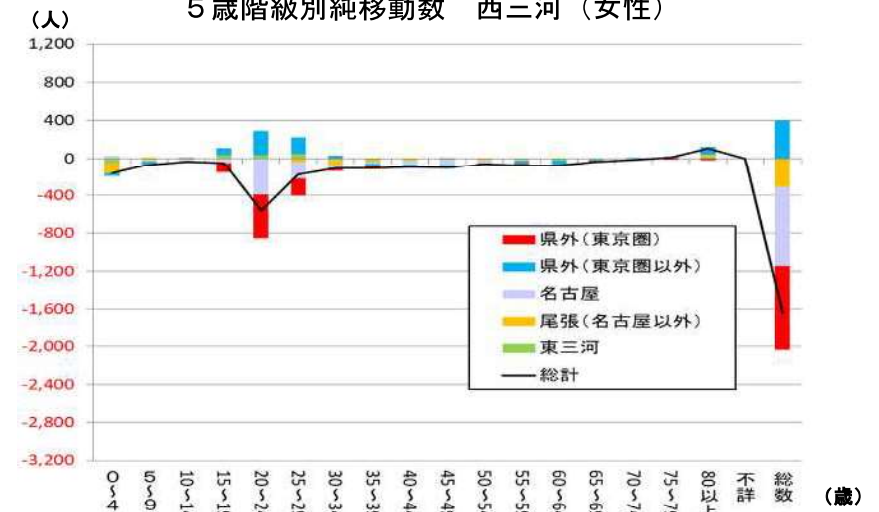
（単位：人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入超過数（県内）	△ 3,824	△ 4,400	△ 3,497	△ 3,231	△ 3,231
転入超過数（県外）	460	△ 991	164	△ 276	△ 276
転入超過数（うち東京圏）	△ 1,788	△ 1,647	△ 1,533	△ 1,775	△ 1,775
転入超過数（総計）	△ 3,364	△ 5,391	△ 3,333	△ 3,507	△ 3,507

5歳階級別純移動数 西三河（男性）



5歳階級別純移動数 西三河（女性）

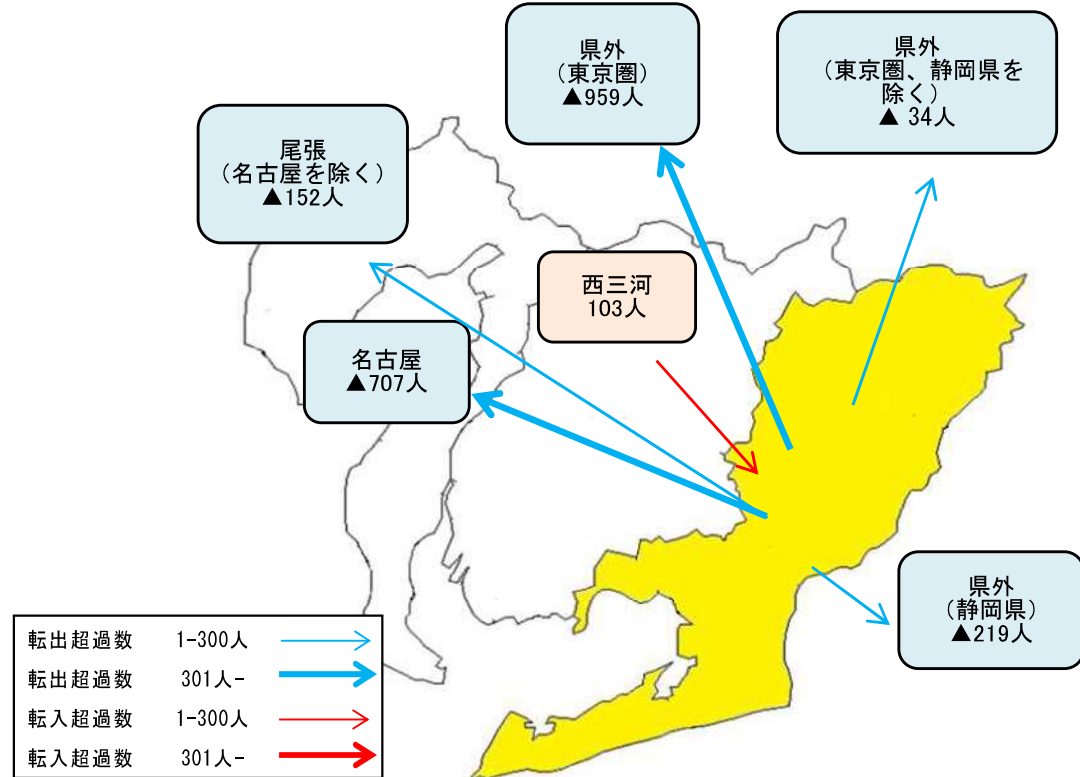


地域別の転出入の状況⑥(東三河)



- 東三河地域の転出入は、1,968人の転出超過となっている。西三河からは転入超過、名古屋市を含め尾張、県外に対しては転出超過となっている。
- 男女ともに15～29歳を中心に転出超過となっている。

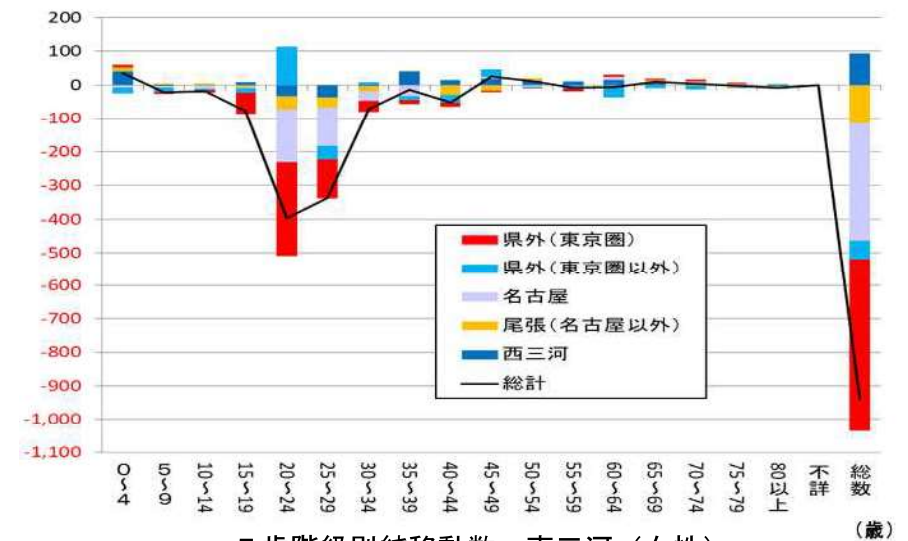
東三河地域における転出入の状況（2023年）



(単位：人)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入超過数（県内）	△ 868	△ 815	△ 250	△ 553	△ 756
転入超過数（県外）	△ 798	△ 861	△ 620	△ 1,244	△ 1,212
転入超過数（うち東京圏）	△ 904	△ 625	△ 734	△ 863	△ 959
転入超過数（総計）	△ 1,666	△ 1,676	△ 870	△ 1,797	△ 1,968

(人) 5歳階級別純移動数 東三河（男性）



(人) 5歳階級別純移動数 東三河（女性）

